

平成24年度一般用医薬品販売制度定着状況調査（郵便等販売に係る経過措置利用状況調査） 結果について（概要）

平成 2 5 年 7 月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

平成25年5月末で離島居住者・継続使用者に対する第2類医薬品等の郵便等販売に関する経過措置が終了予定であることに伴い、6月以降のこれらの方々への郵便等販売の取扱いについて検討を行うに当たり、経過措置の利用状況を把握することを目的とする。

2. 調査の内容※

郵便等販売を行うとして都道府県等へ届出をしている、全国1,540件の薬局・店舗販売業者（うち、薬局947件、薬局以外の店舗販売業等593件。以下「薬局等」という。）に対して、各自治体を通じて、経過措置による販売状況等について、アンケート調査を実施した。（調査期間は平成25年1月10日～平成25年2月5日）

（主な調査項目）

- （1）郵便等販売で最も使用頻度が高いツール（電話、FAX、ネット、はがき等）
- （2）経過措置として郵便等販売を行った主な第2類医薬品等の種類
- （3）平成24年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数 等

※委託調査により実施（委託先：ソフトブレイン・フィールド株式会社）

3. 主な調査結果

（1）郵便等販売で最も使用頻度が高いツール（電話、FAX、ネット、はがき等）

- ① 郵便等販売を行うにあたり、最も多用するツールは何か：
- 電話 39% / FAX 1% / インターネット 11% / はがき等 2% /
その他 2% / 実績無し 45%

（2）経過措置として郵便等販売を行った主な第2類医薬品等の種類

（店舗ごとに上位3種類選択）

① 第2類医薬品：

- 1位 漢方製剤(337店舗)
- 2位 滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。)(221店舗)
- 3位 消化器官用薬(浣腸薬を含む。)(108店舗)

② 薬局製造販売医薬品：

- 1位 漢方製剤(115店舗)
- 2位 滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。)(29店舗)
- 3位 精神神経用薬(かぜ薬(内用)、解熱鎮痛薬、乗り物酔い防止薬等を含む。)(28店舗)

(3) 平成24年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数

① 第2類医薬品：

- ・送付先総数：のべ13,831件
うち、離島居住者あて 2% / 継続使用者（同一県内）あて 35% /
継続使用者（県外）あて 62%
- ・1店舗当たりの送付先件数：中央値 7件、平均値 34件
（対象：1個以上郵便等販売をしたと回答した403業者）

② 薬局製造販売医薬品：

- ・送付先総数：のべ3,827件
うち、離島居住者あて 4% / 継続使用者（同一県内）あて 53% /
継続使用者（県外）あて 37%
- ・1店舗当たりの送付先件数：中央値 7件、平均値 47件
（対象：1個以上郵便等販売をしたと回答した82業者）